

## 第2回 第11期多治見市財政問題市民懇話会会議録（要旨）

日時 令和7年10月22日(水) 10:00～

場所 多治見市役所 本庁舎5階第1委員会室

<出席委員> 森岡会長、成瀬副会長、伊藤委員、佐藤（逸）委員、佐藤（薫）委員

<事務局> 桜井企画部長、小栗財政課長、大前、岡田

### 1 企画部長あいさつ

### 2 議題

(1) 財政判断指標の基準値及び目標値の見直しについて

(2) その他

#### 【主な意見等】

(1) 財政判断指標の基準値及び目標値の見直しについて

委員	過去に基準値や目標値の見直しを行ったことはあるか。
事務局	前提として目標値については市長任期の4年ごと、基準値については必要に応じて見直しを行うことになっている。値の見直しは、今回は令和5年、その前は平成23年まで遡る。
委員	社会経済情勢の大幅な変化は理解しているが、見直しを行うにあたり、歳出を削減する努力も必要と考えるがどうか。
事務局	令和8年度予算編成にあたり、歳出については、物件費にあたる消耗品費や委託料等を適切な要求額に抑制していく。一方で歳入については、ふるさと応援寄附金等の寄附金や広告収入の増加を図っていく。
委員	無条件に財政判断指標の緩和を行うのではなく、市でも歳出の削減や歳入の増加の努力を行い、全体のバランスを見ながら、適切な数値に見直すということによいか。
事務局	当市は平成8年に経常収支比率が岐阜県下最も悪く、財政緊急事態を宣言している。宣言下において、歳出を抑制するために人件費や借換え等による公債費の削減を行った他、補助金交付の削減等も行い、市民の方への負担もお願いしていた。現在、類似団体と比較して、当市の財政状況が著しく悪化しているわけではなく、物価高騰や賃上げ等の外的要因が大きく作用していると判断しており、バランスを考慮して見直しを行うもの。
委員	指定管理期間更新による管理委託料の増額も要因としているが、委託先の人件費の伸び等も見込んでいるのか。
事務局	ご指摘のとおり、委託先の人件費の上昇も含んでいる。

(2) その他

事務局	次回懇話会は、令和8年3月頃に開催予定とする。
-----	-------------------------